

令和3年度入学生 キャリア教育全体計画書

1 全体目標

自立のために必要な能力や態度をきめ細やかに育むことを通して、豊かな人間性を養い、知・徳・体の調和のとれた成長と主体的に社会に参画できる生徒の育成を目指す。

2 現状・課題

熱心な部活動や下諏訪町との交流を通して自信をつけて卒業する生徒がいる。一方で、友人関係を育むことが苦手であったり、3年になっても進路選択に悩んだりする生徒も少数いる。入学時の生徒は校外での活動が少なく、そのままであれば教室での学習や少ない体験から得た知識をもとに卒業後の進路を検討することとなる。地域社会と関わりつつ、自己の在り方生き方を考えさせる場面を多様に仕組むことで、自分らしい生き方を実現していくための過程を支援する必要がある。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)

【キャリア・デザイン力】を含める。

- 「自主」を支える力
 - ・すべての基盤となる確かな「読み取る力・計算する力」
 - ・自らを律する「基本的生活習慣」と「他者を尊重する姿勢」
- 「意欲」を支える力
 - ・身の回りの出来事や学ぶ内容に「自ら問いを立てる力・自ら検証する力」
 - ・地域の中に出て「主体的に社会の人々と関わる力」
- 「創造」を支える力
 - ・学んだ知識を活用して「発展的に考える力・積極的に表現する力」
 - ・自分の幸福と他者の幸福が共に実現する「理想の社会を構想する力」

4 内容

指導項目	指導方針 (対応する項目)
①地域社会を素材とした探究的な学びを通して、地域社会における自己の在り方生き方を考える。	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉え、卒業後の進路を意識させる。(①, ③, ④)
②すべての基盤となる基礎学力や他者との対話を通して学びを深める態度を育成する。	イ 進路指導を単なる出口指導としない。1年次よりすべての教科・科目で少人数の多様な講座を編成し、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を行うこと通して、3年間系統立てて将来設計を考えさせる場面を仕組む。(②, ④)
③学校の学びを活用して、私と地域社会の幸福を創造しようとする態度を育む。	ウ 講演会や事業所見学、就業体験活動等では事前・事後指導を行い、特に内容の振り返りでは新たに身についた見識について確認をする。(②, ④)
④卒業後の進路を選択し、その進路によって社会とどう関わり、どう生きたいのかを構想し、努力し続ける力を育む	エ 年度末に評価(教員、生徒)を行い、次年度の計画や指導に反映する。 オ ICT機器や新聞を活用し、主体的・効果的に多くの知識を獲得させたり、議論を展開させたりする。(③, ④) カ 地域社会が抱える課題の解決に向けた探究を通して、知識を活用する場面の充実を図りつつ、地域社会の中で生きる自分の生き方について考えさせる。(①, ③)

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等 (実施学年)
教科の授業	・獲得した知識を活用して思考力、判断力、表現力を育成するため、対話的な学習を多用する。また、教科の特性を活かして小論文指導や課題解決学習を導入する。〈1, 2, 3年〉
総合的な探究の時間	・SDGsを学ばせる〈1, 2年〉 ・新聞を使って社会に広く関心を持ち、社会で活躍する人について知る。〈1, 2, 3年〉 ・諏訪地域、日本、世界の課題を調べたり、考えたりさせる。〈1, 2, 3年〉 ・地域社会の課題の解決と自分を照らして、社会の一員として生きる私を思考させる。〈2, 3年〉 ・勤労観、職業観、人生観を育む。〈1, 2, 3年〉
特別活動	・上級学校や事業所の見学、就業体験、講演会で多様な進路があることを知る。〈1, 2, 3年〉 ・主体的に文理選択、科目選択を行うために支援をする。〈1, 2年〉 ・講演会やグループ学習を通して自己の在り方生き方を考えさせる〈1, 2, 3年〉
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・自分の視点をもって探究的フィールドワークや上級学校見学に参加させる。〈1, 2年〉 ・長期休業中の就業体験、ボランティア、オープンキャンパス参加を勧める。〈1, 2, 3年〉
地域や産業界等との連携	・地域社会を素材にした大人と関わる探究活動を通して、コミュニケーション能力の向上を図る。〈1, 2, 3年〉 ・就業体験を勧める。〈1, 2, 3年、希望者 事前、事後指導も含む〉
評価	・アンケートや面接を通して生徒の変容を評価し、改善する。〈1, 2, 3年〉 ・「生徒実態調査」に書かれた自由コメントを利用して指導に活かす。〈1, 2, 3年〉
中学校との連携 (指導の継続性)	・高校入学までのキャリア形成を振り返らせる。〈入学時〉 ・体験入学、学校説明会等で向陽高校のキャリア教育を説明する。
校内の推進体制	・3つの方針をもとに学年及び学校職員全体で意識を統一した指導を行う。〈1, 2, 3年〉
キャリア・パスポートの取組	・キャリア教育に関わる活動について、記録し振り返らせる。〈1, 2, 3年〉

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	○地域社会を知る ○自己を理解する	○社会における自己の生き方を探る ○社会貢献について考える ○進路の具体化	○進路先を決定する ○将来の社会参加する方向性の決定 ○学力を定着させ進路実現をめざす
主な取組	○高校生活への適応、仲間づくり ○SDGs 探究、地域課題探究 ○進路研究と2年次の文理選択	○上級学校見学 ○SDGs 探究、社会課題探究 ○進路選択と3年次の科目選択	○進路課題探究 ○進路実現までの具体的な目標設定、計画及び課題の明確化
評価	・生徒意識調査及び面接 ・教員アンケート	・生徒意識調査及び面接 ・教員アンケート	・生徒意識調査及び面接 ・教員アンケート ・進路状況

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教科	総合的な探究の時間	特別活動	その他(面接・評価等)
1年	4 論理的文章の書き方(国語)	活動履歴の記録・蓄積(通年) 探究手法の学習 新聞を使ったSDGs学習 新聞スクラップポスター制作・発表(文化祭)	活動履歴の記録・蓄積(通年) これまでのキャリア形成の振り返り 進路適性診断	キャリア・パスポートによる自己評価(通年) 二者面談 進路希望調査
	7 職業生活と社会参加(現社)		就業体験(医療、福祉等体験) ボランティア活動 地域連携事業参加	三者面談
	夏 補習			
	9	職業課題研究 地域課題探究Ⅰ(講話、地域産業研修、グループ学習) 地域課題探究Ⅰフィールドワーク	文理選択を考える	進路希望調査、二者面談 三者面談
	12	地域課題の分析・まとめ		
	1 3	課題探究発表会		面談、教員アンケート 進路希望調査
2年	4 論理的文章の書き方(国語) 自分らしい人生を作る(家庭) 世界のSDGsの取り組み(英語)	活動履歴の記録・蓄積(通年) 探究手法の学習 新聞を使ったSDGs学習 地域課題探究Ⅰの展示発表(文化祭)	活動履歴の記録・蓄積(通年) 進路適性診断 進路研修(上級学校講義体験)	キャリア・パスポートによる自己評価(通年) 二者面談 進路希望調査
	7 夏 補習		就業体験(医療、福祉等体験) ボランティア活動 オープンキャンパス参加	三者面談
	9	地域課題探究Ⅱ(講話、グループ学習) 地域課題探究Ⅱ・フィールドワーク	科目選択を考える	進路希望調査、二者面談 三者面談
	12	地域課題の分析・まとめ	3年0学期始業式 進路課題研究	面談、教員アンケート 進路希望調査
	1 3	課題探究発表会	就業体験(医療、福祉等体験) ボランティア活動 オープンキャンパス参加	年間評価、次年度の計画
	春 休 春 休	学習合宿(5教科)		
3年	4 論理的文章の書き方(国語)	活動履歴の記録・蓄積(通年) 進路課題探究 地域課題探究Ⅱの展示発表(文化祭)	活動履歴の記録・蓄積(通年) アドミッションポリシーの研究 志望理由の整理(文章、口頭) 職場見学 就業体験(医療、福祉等体験) オープンキャンパス参加	キャリア・パスポートによる自己評価(通年) 二者面談 進路希望調査 三者面談
	7 夏 休 補習			
	9 労働問題(政経)	進路課題探究	小論文指導、面接指導 出前講座 ・主権者教育	進路希望調査、二者面談 三者面談
	12			
	1 3		出前講座 ・社会人マナー講座 ・消費者講 ・年金、社会福祉講座	教員アンケート 進路状況まとめ 3年間の評価